

実践報告資料

研究テーマ『人権意識に根ざした生活スタイルを子どもたちの力に
～ 「気づく」「調べる」「考える」「行動する」力の育成 ～ 』

研究内容【 (1)、(2)、(3)、(4) 】

学校名 (養父市立広谷小学校)

ア 人権教育としてのねらい
一人ひとりの自尊感情を高め、自己肯定感をもつことができる子どもに育てる。
差別を見ぬき、差別しない、許さない心の育成や人権尊重の生活スタイルを身に付けさせる。

イ 研究の概要
・体験活動や自己理解の学習に取り組み、自尊感情を高め、自己肯定感をもてる子どもを育てる。
・独自に作成した人権教育推進カリキュラムに従い、対話的な授業を展開することで人権尊重の生活スタイルを身に付けさせる。

領域	教科	道徳 (特別の教科 道徳)	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	5年担任	推進教員	1年担任 推進教員	3年担任 推進教員
実施日	10月21日	11月24日	6月30日	5月～11月
取組名	「形が動く絵が動く ～コマ撮りアニメーションを作ろう～」	「ぼくの名前」	「いっしょにあそぼう」	「人権の花」運動
目標	作品の造形的なよさや美しさ、表し方の工夫を味わったり、考えたりすることができる。 自他の作品の良さを認め合うことができる。	名前は自分の存在を表す大切なものであることに気づき、自分自身を肯定的に捉えようとする。	友だちを誘うためのスキルの習得と、実際に誰にでも声をかけられるように練習を行うことで実践的行動力の育成をめざす。	児童が協力し合って花を育てることを通じて、協力、感謝することの大切さを学び、生命の尊さを実感する中で、人権尊重の心を育み情操をより豊かなものにする。
資料名	「形が動く絵が動く」 (日本文教出版)	「ぼくの名前」 『ほほえみ』 (兵庫県教育委員会)	「いっしょにあそぼう」 いじめ未然防止プログラム (兵庫県教育委員会)	なし
指導内容や指導方法の工夫等	タブレットのビデオエディターを使い、コマ撮りで作った友だちのアニメーションを見合う場を設定する。その中で友だちから推薦された作品を全体で鑑賞し、作品の造形的なよさやおもしろさを出させる。	「世界とであうえほん」を紹介し、世界には様々な国があり、その中でいろいろな人がいて、伝統・文化があることを紹介する。 自分の名前に誇りをもって生きていこうとするぼくの思いに共感し、自他を大切にしようとする意欲や態度を身に付けさせる。	パワーポイントで絵カードを提示することで興味関心を持たせる。 実演を交える等、チームティーチングを有効に活用する。 ペアトークの場面を多く設定し、考えを交流できるようにする。	グループ交流できるように3年生2クラスを10班編成する。 「人権の花」運動の趣旨を当該学年に応じてわかりやすく説明し、その意義について考えさせる。 花を育てるだけでなく、「人権の花」運動を多くの人に広める方法を考えさせる。

